



RI District. 2660 Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2018-19

2018-19 President of Rotary International Barry Rassin
国際ロータリー第 2660 地区 2018-19 年度ガバナー 山本 博史



会報 No.2394
2018年10月25日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ



2018-19 年度 会長：片山 秀樹 幹事：林 たかみ 広報・会報委員長：黄堂 泰昌

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

<p>◆今週の例会プログラム◆ 2018年10月25日(木)第2395回例会 卓話：50周年記念事業実行委員会 担当：委員長 黄堂泰昌会員</p>	<p>◆次週の例会◆ 2018年11月1日(木)第2396回例会 フォーラム ロータリー財団</p>
<p>◆先週のお客様◆ 有馬 圭亮 様 (ピアニスト) ◇ロータリーソング◇ 奉仕の理想</p>	<p>◆出席報告 2018年10月18日(第2394)回例会)◆ 会員数：30名 出席者：18名 出席率 72.00% 前々前回 2018年9月27日 64.00%</p>

◆会長の時間 会長 片山 秀樹
皆様こんばんは。先日、ダイキン工業株式会社の研究所を見学機会がありましたので本日はエアコンについてお話ししたいと思います。ご承知の方も多いかと思いますが大阪金属工業所(大正13年)としてスタートした売上2兆円、従業員7万人の大企業です。空調事業は世界第1位、フッ素化学製品はデュポンに次いで世界第2位、換気事業は世界第1位と日本を代表するメーカーです。

エアコンには機械的技術と化学的技術が使われています。気体は圧縮すると発熱し、膨張すると冷えるという物理的性質を持っています。エアコンは気体(冷媒)をコンプレッサーで圧縮することにより発熱したものから熱を取り出すことと気体が膨張するときの吸熱により周りを冷やす性質を利用しています。また、冷媒は熱媒体として優秀、化学的に安定、人体に無害、爆発性がないなど要求される基準は非常に高いものがあります。

ダイキン工業は昭和10年頃に海軍の要求からエアコンの開発を進めました。本来は金属加工など機械技術を持った会社でしたが開発開始と同時に化学的研究を進め優秀な冷媒を完成させたことに驚かされます。完成した商品は海軍の艦艇のみならず潜水艦にも搭載されていたとのことでした。軍需だけではなく日本初の鉄道車両用の冷房ユニットとして南海電車が採用していたようです。

企業の事業にはそれぞれ発展の歴史があります。軍需がきっかけで機械的研究と化学的研究を同時に

スタートさせ完成した商品が世界で民間利用されていることに感動させられました。

◆幹事報告◆ 幹事 林 たかみ

- ・赤い羽根募金について
- ・ロータリーデーについて

◆委員会報告◆
国際奉仕委員会(委員長：西宮富夫会員)
2660地区より ハンブルグ国際大会の案内が届いています。地区のツアー案は4泊5日、詳細は12月頃発表。

◆SAA 報告◆

ニコニコ箱

青 敬祐会員：川端さん卓話よろしく
前田建司会員：川端会員、卓話お願いいたします。
西脇 悟会員：川端会員卓話よろしくー！！
芝野弘三郎会員：川端会員卓話宜しくお願いします。
庄司修二会員：川端さん卓話よろしくお願ひします。
木村知也会員、尾崎夏樹会員

米山奨学会

川端崇且会員：本日の卓話よろしく
山下恵司会員：川端さん卓話お願いします。
林たかみ会員、前田建司会員、西脇悟会員、尾崎夏樹会員、芝野弘三郎会員、庄司修二会員

ロータリー財団

片山秀樹会員：川端さん卓話宜しくお願いします
西宮富夫会員：川端会員卓話よろしく
木村知也会員、前田建司会員、尾崎夏樹会員、芝野弘三郎会員、庄司修二会員、山下恵司会員
ポリオ基金
尾崎夏樹会員

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか 2、みんなに公平か 3、好意と友情を深めるか 4、みんなのためになるかどうか

◆卓話◆

出席向上委員長 川端

ロータリークラブは例会出席から始まる。

私の考えは会員の職務を優先し、生計をしつかり保つことが大切であり、ロータリークラブ活動を少しでも理解しながら例会に足を運ぶ日が多くなるよう望みます。

今日は私の卓話ですが、皆様方に披露する事など持ち合わせていませんが、私の人生75年を述べさせていただきます。

自己紹介

1942年12月大阪市天王寺区で生まれて、1年4か月で父親を亡くし、その1年後に大阪大空襲で住まいも焼け、幼年期は辛い事が多かったが、お陰で強く生きるすがすがしさに自然に身についた事を感謝しております。

現在、私には職業がありませんが、52年間建築タイル工事業務に携わっていました。20歳で建築材料会社に勤め始め、少ししてタイル工事部門に配属されました。その時に出会った仕事が生涯の仕事になりました。もともと30歳で独立をする夢を持ち、10年間修行をさせてもらって実現しようと考えて居ました。独立にあたり親しいメーカーの社員さんに相談をすると箕面市当たりでやればと助言があり、その時に西南小学校の新築工事を私が担当しており、たまたま近くに売りがあり、妻と娘2人の家族で引越し開業をしました。

商いの基本は人、物、金で当初の予定は一人からのスタートするつもりであったが、私と一緒に8人の職方が付いて来たので、明日からの仕事をどうすればよいか、得意先も資金もないし困り果て、勤めていた会社に相談をすると得意先が出来る迄は、下請けとして現場をもらって何とか職方の仕事は解決しました。私共の物とは商品のタイルと施工技術であります。この件については問題なしでした。資金については子供の頃から伯母に教わっていたことは、絶対に親、兄弟、友人、からは金は借りてはならない。金は銀行から借りなさいと教えられており、これは今も守っています。

仕事の内容ですが、皆さま方はタイル工事と聞くと住宅の風呂、トイレ、玄関に使用されていると思われませんが、私は殆ど住宅の仕事は少なかったのです。病院、図書館、学校、マンションの外装タイル貼りが主です。

例えば、中之島安宅美術館（東洋青磁美術館）の外壁とか、北浜の山種証券大阪支店のホールの壁に陶板タ

イルに描かれている千羽鶴です。この現場の作者は加山 又造画伯（日本画家）と番浦 史郎（陶芸家）ですが、この作品は将来、東京の山種美術館に移動するので、無傷で剥がれるように施工する事で一枚一枚を丁寧に貼りました。私の手掛けた最長のタイル工事は住友中之島ビルの外装タイル張りです。この工事はコンクリートを打つ前に型枠ベニヤにタイルを貼ってから、コンクリートを打設する工法で工期は17ヶ月かかりました。こうした仕事を55年間に続けて参りました。

現在は仕事から解放され毎日が日曜日の年金暮らしであり、良いことも、つまらない事も多々あります。引退後、やらなければ成らないことは、生まれてから72年間に多くの人にお世話になった御礼と思い、四国八十八ヶ所の巡礼の旅を決心して、先ず体力の増強をして決行しました。延べ1200kmを歩いて旅をする事は、つらい事と、楽しい事の繰り返しの3か月でした。本人のみが達成感と満足感に酔っている。

今は出来る限り日々の予定を入れる事にしており、例えば、JC シニアクラブ、大阪プロバスクラブ、箕面ロータリークラブに参加をして、銀行や証券会社のセミナー等に出掛け、特に資産運用セミナーには同世代の出席者の方々を見ていると新たな発見がある。70代、80代、90代をどのように生きて行くか熱心に勉強をされており、多くの方は健康で豊かな老後を経験したい思いは変わりません。

あるセミナーで岸 博幸氏（小泉首相の時代竹中蔵相と共に財政再生を務めた）の話では、人生100年時代に入り2020年には段階の世代の人が後期高齢者になり、今の基礎年金は20歳～60歳迄の40年間掛けた金額を、今の支給額だと10年で使い果たすそうで、残りは若い人に頼ることになり、国家予算は人口減なのに年金受給者が毎年増え続けるが、これでよいのか。

資産についてヨーロッパでは保険とか年金でアメリカは株式の保有、日本は貯蓄となっているそうです。この20年間で日本経済の成長率が2%、米国が22.5%であるそうで、ちなみにトランプ大統領の資産は3400億円だそうです。

このような事をセミナーに出掛け聞いて来るが、自分自身は毎日を健康で過ごせば良いと思っている今日この頃です。 合掌

